



2020年4月22日

各位

株式会社 富山銀行

投資信託の取扱商品追加について

富山銀行（頭取 齊藤栄吉）は、2020年4月24日（金）から投資信託の取扱商品を、下記の通り追加いたします。

当行では、今回の取扱商品追加により、金融商品のラインアップを充実させ、お客さまの幅広いニーズにお応えするよう努めてまいります。

記

1. 取扱開始日

2020年4月24日（金）

2. 追加商品

ファンド名	委託会社
マン AHL スマート・レバレッジ戦略ファンド (愛称：スマレバ)	大和アセットマネジメント（株）

3. 商品概要

別紙を参照願います。



【投資信託に関する留意事項】

- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等によります。したがって、元本および分配金が保証されている商品ではありません。主なリスクには以下のものがあります。
 - (金利変動リスク) 金利が上昇した場合に債券価格が下落し、基準価額が下落するリスクです。
 - (価格変動リスク) ファンドに組み入れられた株式や債券などの価格の変動の影響で基準価額が下落するリスクです。
 - (為替変動リスク) 外貨建資産について、当該通貨の外国為替相場が円高になった場合に基準価額が下落するリスクです。
 - (信用リスク) 株式や債券の発行体の経営に直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合にファンドにも重大な損失が生じるリスクです。
 - (流動性リスク) 市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合等にファンドの組入銘柄を売却する際、期待価格での売却ができず、不測の損失を被るリスクです。詳しくは各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等をご確認ください。
- 投資信託のお申込時にはお申込手数料、ならびに運用期間中には信託報酬等がかかります。また、換金に際して信託財産留保額などのコストがかかるものがあります。※ファンド毎に手数料等は異なりますので、各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等をご覧ください。
- 投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客様に帰属いたします。
- 富山銀行でご購入された投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 富山銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は投信会社が行います。
- 投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。
- 投資信託をご購入の際は、目論見書および目論見書補完書面等により、必ず商品内容や留意事項を十分ご理解のうえ、ご自身のご判断でお申込みください。
- 目論見書および目論見書補完書面等は当行本支店にご用意しております。

商号等 株式会社 富山銀行（登録金融機関）
登録番号 北陸財務局長（登金）第1号
加入協会 日本証券業協会

本件に関するお問い合わせ先
富山銀行 営業統括部 TEL 0766-27-0164
担当 営業企画グループ

以上

商 品 概 要

2020 年 4 月 22 日現在

商品名	マン AHL スマート・レバレッジ戦略ファンド（愛称：スマレバ）
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社 (4 月より、大和証券投資信託委託(株)より社名変更)
受託会社	野村信託銀行株式会社
申込（購入）単位	1 万円以上 1 円単位
解約単位	1 口単位
投資積立サービス	取扱可（積立金額は 5 千円以上千円単位）
決算日	毎年 4 月 12 日および 10 月 12 日（休業日の場合は翌営業日）
信託期間	2019 年 11 月 12 日設定 2024 年 10 月 11 日まで
購入手数料	3.30%（税抜 3.0%）
信託報酬	純資産総額に対して年率 1.2375%（税抜 1.125%）以内
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.6375%～2.1875%(税込)程度 (投資対象とする投資信託証券管理費用を含む)
信託財産留保額	ありません。
収益分配	年 2 回、分配方針に基づいて分配を行う。
購入・換金申込受 付の中止及び取消 し	委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、投資対象国における非常事態による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少など、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込みの受付を中止することおよび受け付けた購入・換金の申込みの受付を取り消すことができる。
お申込不可日	① ロンドンの銀行またはダブリンの銀行の休業日 ② ロンドンの銀行またはダブリンの銀行の休業日の前営業日 ③ ①②のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
商品の特色	1. 世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行ない、独自の数量モデルを活用してポジションを構築する。 ● 目標ボラティリティ水準を維持することにより、あらゆる市場環境において超過収益の獲得をめざす。目標ボラティリティは 10% とする。 ● デリバティブ取引において、レバレッジを活用する。 2. 運用は、AHL パートナーズ・エルエルピーが行なう。 3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なう。
投資リスク	価格変動リスク（株価の変動、債券の価格変動）、信用リスク、株価指数先物取引・債券先物取引の利用に伴うリスク、為替変動リスク、カントリーリスク、その他